

第22回地域福祉セミナー

「みんなで考える 支えあいのこれから」

日 時 : 令和6年10月10日(木) 13:15~15:45

会 場 : 仙台市福祉プラザ2階 ふれあいホール

主 催 : 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会、仙台市

共 催 : 仙台市地域包括支援センター連絡協議会

後 援 : 仙台市連合町内会長会、仙台市民生委員児童委員協議会、日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部、仙台市共同募金委員会、仙台市老人福祉施設協議会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会、特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、一般社団法人宮城県社会福祉士会、仙台商工会議所、公益社団法人仙台青年会議所

〈会場参加型企画〉

本セミナーでは、質問や感想をリアルタイムで募集しています

お寄せいただきました回答に関しては講師・パネリスト・会場へ共有させていただきます。
スマートフォン・タブレット等で、ぜひご参加ください。



Wi-Fi

アクセスポイント (SSID)

➡sendaplaza

パスワード ➡ plazal994

(小文字でプラザ 1994)

QRコードはこちら

質問や感想を受付中です



質問や感想を受付中です

QRコードはこちら

QRコードの読み込み方が分からないかたは別紙の「QRコード読み取りかた」をご覧ください。

それでも読み込めないかたはお近くの会場スタッフまでお声がけ下さい。

目 次

基調講演資料	1
「地域福祉の持続可能性を高めるには分野を超えた補完性が大切 ～これまでとこれからは違う！時代に即した進化が不可欠～」 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏	
パネルディスカッション資料	21
「八木山地区社会福祉協議会 支え合いの活動について」	(23)
八木山地区社会福祉協議会 会長 大野 貴子 氏	
「ちいきのみらい、わたしたちから ユーマディアグループのソーシャルアクション」	(35)
株式会社ユーマディア 取締役 今野 彩子 氏	
「地域包括ケアシステムにおける これからの支え合い」	(41)
仙台市健康福祉局保険高齢部参事 兼 地域包括ケア推進課 課長 庄子 希恵 氏	
コーディネーター 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏	

開催要綱	49
------	----

プログラム

テーマ 「みんなで考える 支えあいのこれから」

1. 開 会 【13:15～】

2. 基調講演 【13:25～】

「地域福祉の持続可能性を高めるには分野を超えた補完性が大切
～これまでとこれからは違う！時代に即した進化が不可欠～」

講 師

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
理事・事務局長 斎藤 主税 氏

休 憩

3. パネルディスカッション 【14:25～】

「私たちの視点から見る支えあいのこれから」

パネリスト

八木山地区社会福祉協議会 会長 大野 貴子 氏
株式会社ユーメディア 取締役 今野 彩子 氏
仙台市健康福祉局保険高齢部参事
兼 地域包括ケア推進課 課長 庄子 希恵 氏

コーディネーター

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
理事・事務局長 斎藤 主税 氏

4. 閉 会 【15:45】

<ご来場の皆様へのお願い>

- ・ホール内は飲食禁止です。ご飲食はハワイエでお願いします。また、ごみの持ち帰りにご協力ください。
- ・会場敷地内に喫煙スペースはございませんので予めご了承ください。
- ・災害時は係員が誘導いたしますので、指示に従っていただきますようお願いいたします。
- ・携帯電話は、マナーモードに設定していただきますようお願いいたします。
- ・講演・パネルディスカッション中、来場の皆様による会場内の写真撮影はご遠慮ください。特に登壇者の発表スライド等、個人情報が含まれる場合がございます。ご理解のほどよろしく申し上げます。
- ・本会では会場内の撮影を行っております。撮影したものにつきましては、本会広報等に使用する場合がございますことを予めご了承ください。
- ・会場内外で発生した事故・盗難等につきましては、主催者・会場・出演者は一切の責任を負いません。自己の責任の上管理いただきますようお願いいたします。特に不特定多数の方が入場いたします会場内での貴重品等の管理には、十分ご注意ください。

基調講演

「地域福祉の持続可能性を高めるには分野を超えた補完性が大切
～これまでとこれからは違う！時代に即した進化が不可欠～」

講師

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

理事・事務局長 斎藤 主税 氏

地域福祉の持続可能性を高めるには 分野を超えた補完性が大切

～これまでとこれからは違う！時代に即した進化が不可欠～



特定非営利活動法人
都岐沙羅パートナーズセンター
つきさら
Iwafune, Niigata

仙台市・地域福祉セミナー@2024.10.10

理事・事務局長 斎藤 主税

1

つきさら 都岐沙羅パートナーズセンター

活動開始	平成11年6月1日
法人設立	平成14年3月1日
理事	8名
事務局	常勤3名、非常勤3名
会員数	正会員 24個人・団体 賛助会員 70個人・団体
主な活動	新潟県村上地域における中間支援活動
年間予算規模	2,000～3,000万円 (R5決算：約3,104万円)

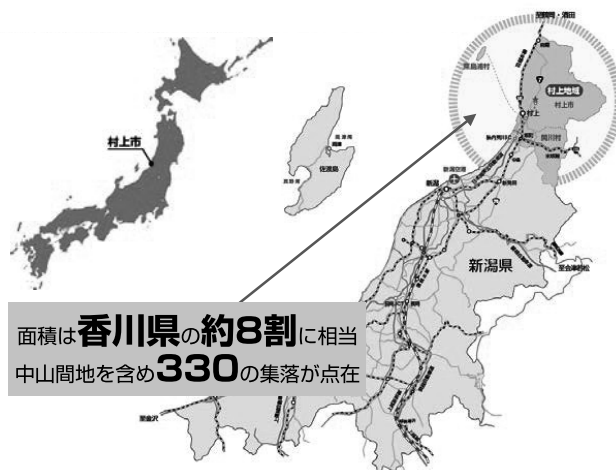
※行政からの運営費補助はゼロ

※地方自治体からの委託事業が大半
(ただし、半分以上がNPOからの提案事業)

- ◎地方自治法60周年記念総務大臣表彰受賞 (2007)
- ◎平成26年度ふるさとづくり大賞・団体表彰受賞 (2015)
- ◎第7回地域再生大賞・大賞受賞 (2017)

新潟県村上地域 (村上市・関川村・粟島浦村)

【人口】62,915人 (R2国勢調査/20年間で18,946人減)
【高齢化率】39.72% (R2国勢調査/20年間で13.6%上昇)



2



3

コミュニティビジネス育成により
 地域は着実に元気になった・・・が

村上地域（1市2村）の人口は20年間で…

約19,000人減少

高齢化率は

約14%上昇

年少人口は

半減

という現実

4

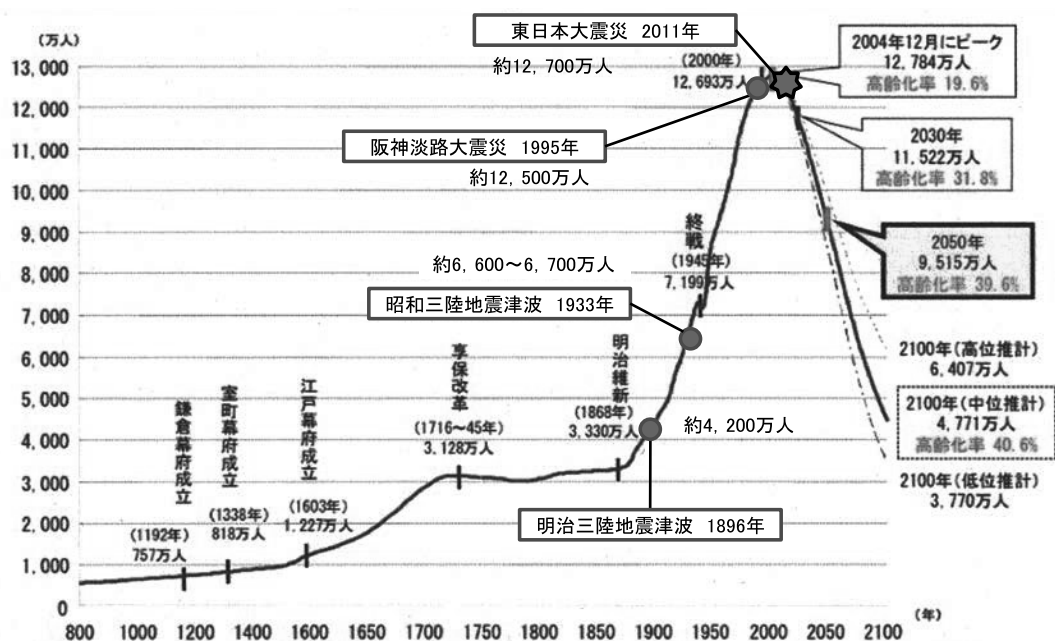
これまでと これからは 違う

5

長期の人口推移

2008年の1億2,808万人をピークに減少に転じている

※継続して人口が減少する社会の始まりの年「人口減少社会・元年」は2011年（平成23年）

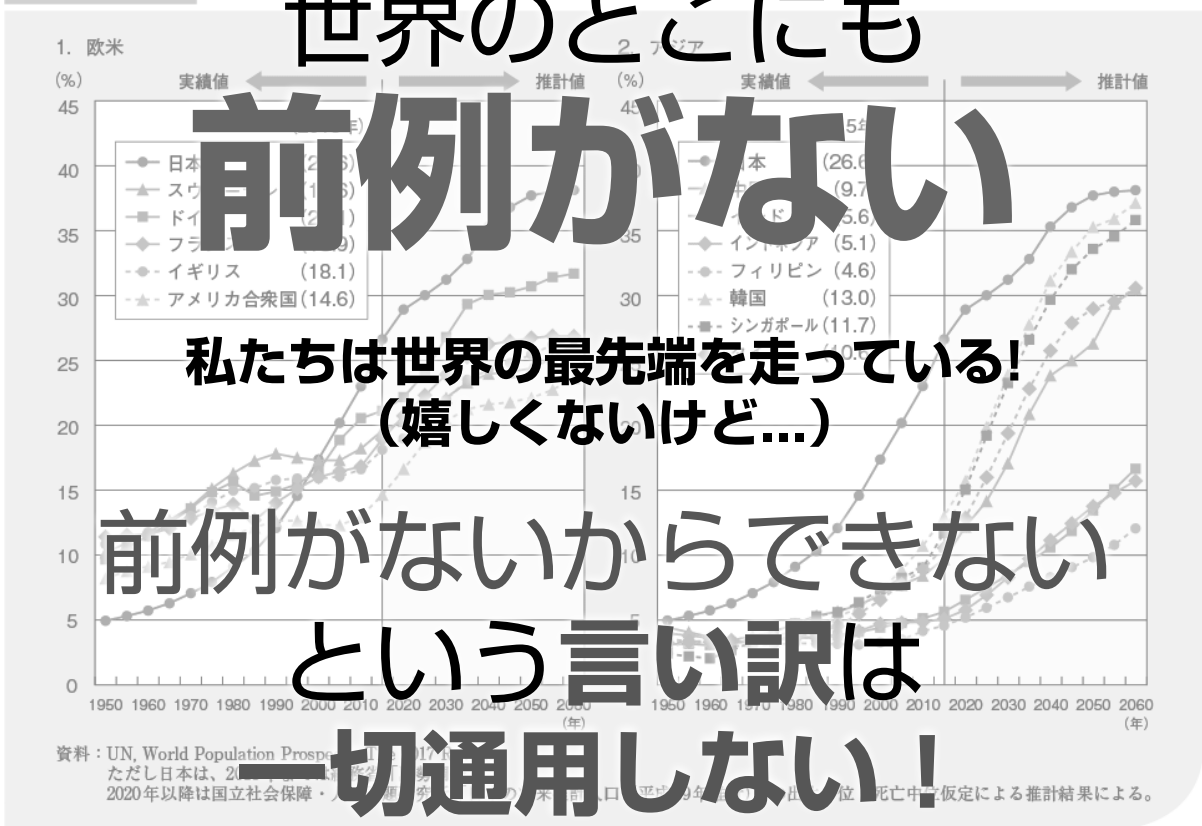


(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

資料一国土交通省作成資料

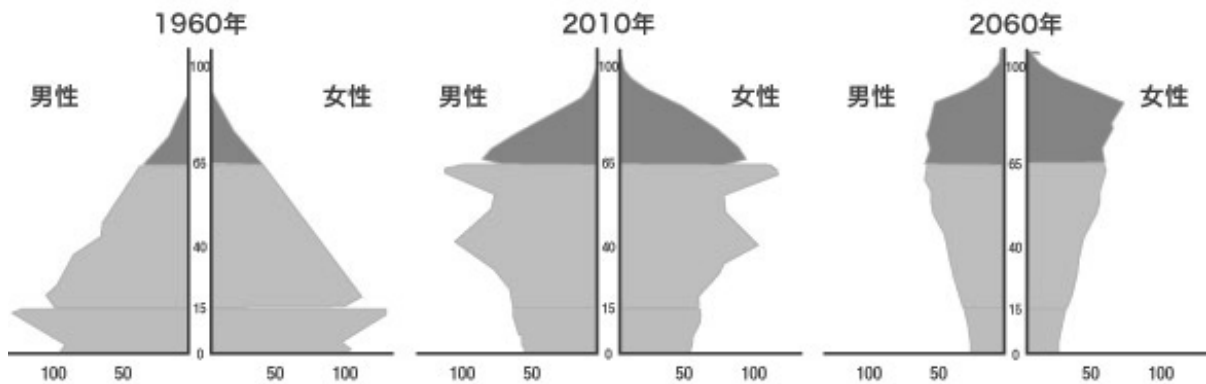
6

図1-1-6 世界の高齢化率の推移



出典：平成30年版高齢社会白書

人口ピラミッドの変化



(注)縦軸は年齢、横軸は人口(単位:万人)。
(出典)1960年および2010年は総務省「国勢調査」、2060年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」の出生中位・死亡中位推計。

仮に、明日から**出生率**が**2.xx**になったとして、人口ピラミッドが1960年当時の状況に戻るのは・・・

➔ **50**年以上先

人口減少は避けられない現実



暮らしに大きく影響するのは
人口構成の変化

9

社会の変化

雪下ろし・雪よせ

地域住民ワーク
ショップより

個人領域
家庭・自治会

空き家

農作業
耕作放棄

通院

冬囲い

お墓管理

今まで

お祭り芸能

買い物

個人で賄ってきたことが
賄えなくなることが
最大の問題！

草刈り

高齢化
少子化
経済低迷
核家族化

人口減少
高齢者のみ世帯
後継者不足

【図作成】 NPO法人 秋田県南NPOセンター

地域における年齢層・世代の意味

65歳以上 ➡ **高齢者** でもお元気な方たくさん
いらっしゃいますよね？

実態を正確に把握するためには、もっと細かく区分してデータを見ていくことが不可欠！

65～74歳 ➡ **いま地域の住民自治を支えている世代**

75歳以上 ➡ **地域を支える側から
自らが支えられる側に**
=後期高齢者

85歳以上 ➡ **4人に1人が要介護3以上**

※要介護3以上の2人に1人が85歳以上

11

11

仙台市の過去20年間人口推移と今後の20年間の予測値

仙台市	国勢調査					社人研推計値※				
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	
総人口 (人)	1,008,130	1,025,098	1,045,986	1,082,159	1,096,704	1,097,004	1,090,319	1,076,945	1,056,113	
	+8.8%				-3.7%					
0～14歳 (人)	146,825	140,051	136,832	129,309	128,665	121,244	111,340	105,394	102,568	
	-12.4%				-20.3%					
15～64歳 (人)	727,783	718,314	703,379	674,873	673,081	700,715	688,347	661,596	615,851	
	-7.5%				-8.5%					
65歳～ (人)	133,020	161,795	191,722	234,360	257,223	275,045	290,632	309,955	337,694	
	+93.4%				+31.3%					
高齢者率	13.19%	15.78%	18.33%	21.66%	23.45%	25.07%	26.66%	28.78%	31.98%	
(再掲) 65～74歳	81,846	91,273	101,661	124,060	129,773	120,949	118,688	130,412	151,019	
					8.5%減					
(再掲) 75歳～	51,174	70,522	90,061	110,300	127,450	154,096	171,944	179,543	186,675	
					34.9%増					
(再掲) 85歳～	11,396	16,210	23,485	31,750	42,231	50,132	58,076	74,113	82,137	
					37.5%増					
一般世帯数	420,368	434,539	464,640	498,257	524,651	530,006	529,212	522,256	511,013	

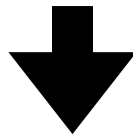
(参考) 2020年の高齢者率 宮城県平均：28.35%/全国平均：28.68%

※人口：国立社会保障人口問題研究所が2023年12月に公開した推計値
世帯数：IH-OE[人と組織と地球のための国際研究所]が公開している集計シートを活用し算出
※本表での人口比率は「年齢不詳」も含めた人口総数で算出

12

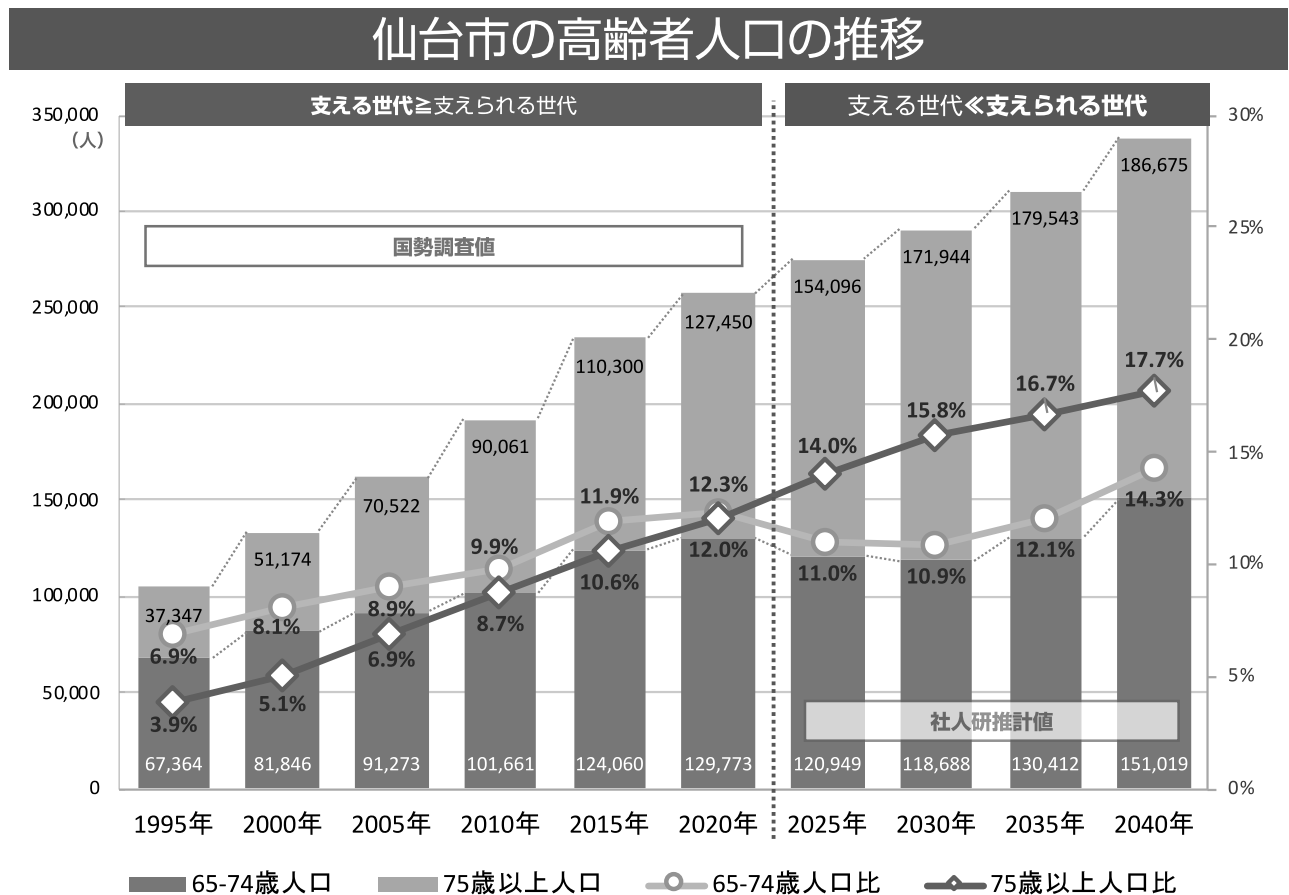
高齢者率は年々高まるものの...

いままでは
地域を支える元気な高齢者が
一定数いた



これからは
自らが支えられる側になる
高齢者の方が多くなる

13

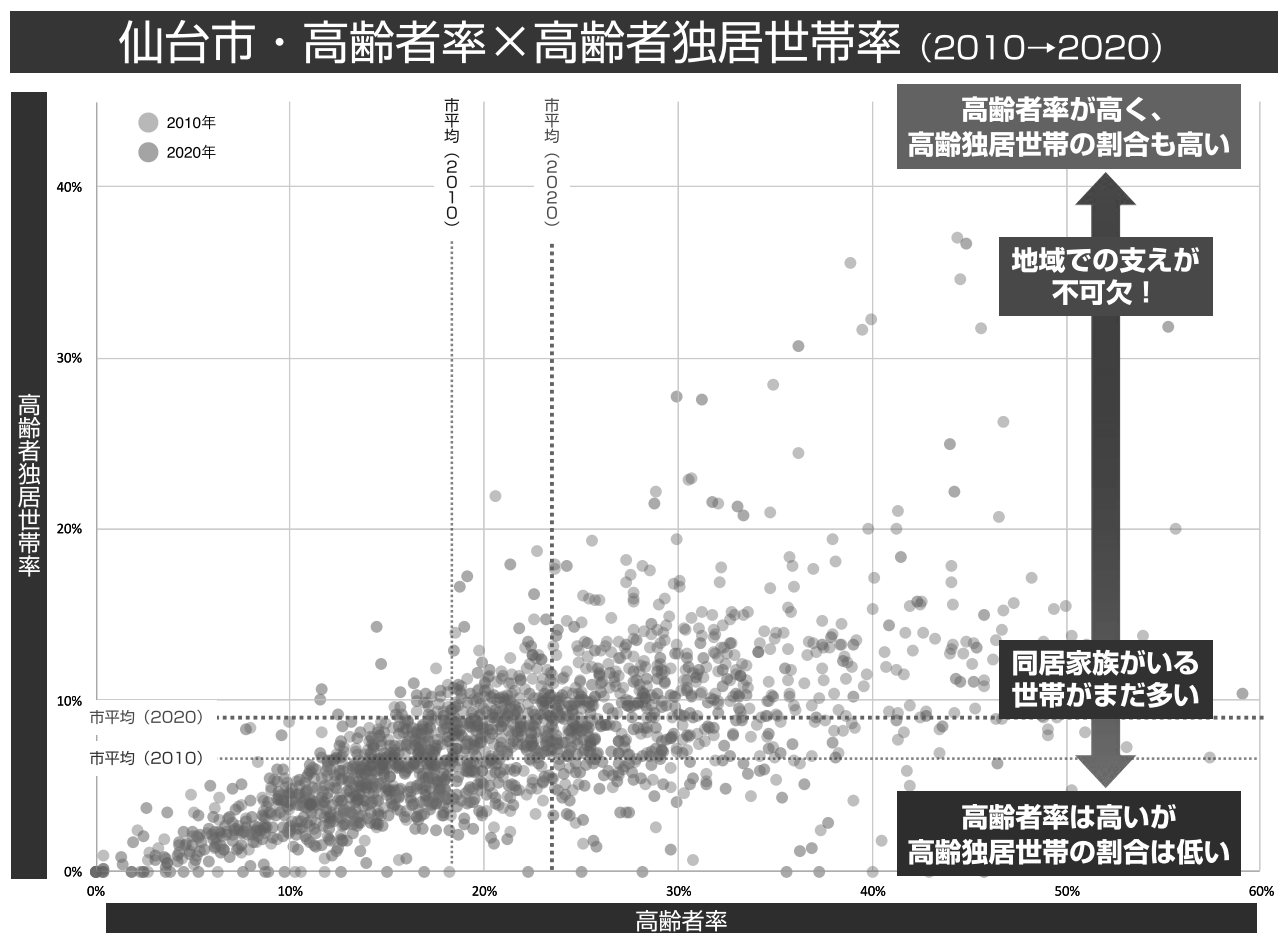


14

ここ10年間で

世帯の状況も 急激に変化している

15



16

少子高齢化（多老化）の進展



少子化／現役世代減少 → 税収減
高齢化（多老化） → 社会保障費増
さらにインフラの更新による支出増



行政に言えば何とかしてくれる...
そんな状況が**今後も続くと思います？**

17

自治会単位での自治も限界がきている

これだけ人が減り、高齢化が進んでくると
自治会単位で賄っていたことも難しくなる



いままでの枠組みを超えた
住民自治の仕組みが不可欠！



小規模多機能自治

18

(進化論で知られる生物学者のチャールズ・ダーウィンの言葉といわれる名言)

It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives.

最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのでもない。

It is the one that is most adaptable to change.

唯一生き残るのは、変化する者である。

【注意】

英ケンブリッジ大学のホームページ「Darwin Correspondence Project (ダーウィン書簡プロジェクト)」によると、この言葉はダーウィン本人のものではないとのこと。1963年に米レイジアナ州立大学のレオン・C・メギンソン氏が、社会科学分野の学術誌に書いた「Lessons from Europe for American Business (アメリカのビジネスのための欧州からの教訓)」という論文の中に書かれた一節がもとになっているそうです。

the species that survives is the one that is able best to adapt and adjust to the changing environment in which it finds itself

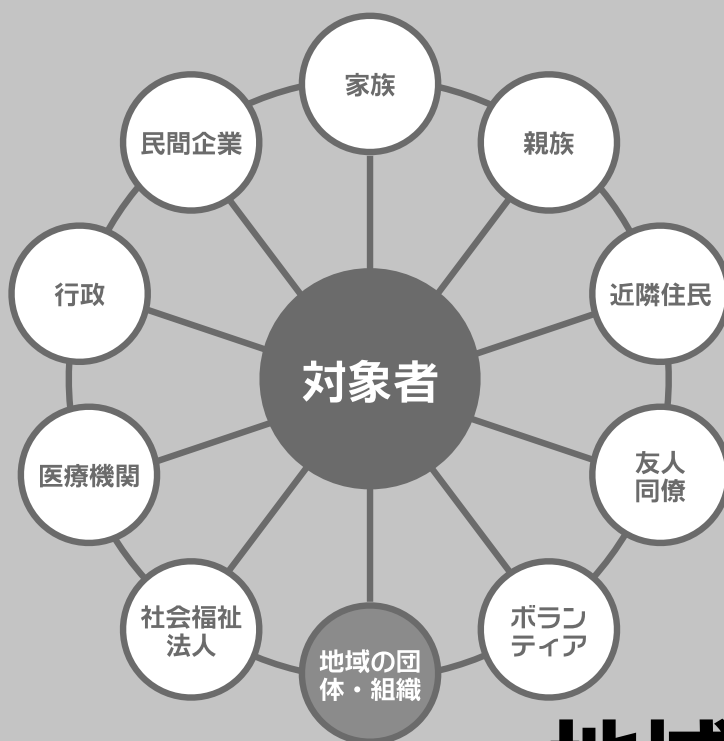
**自分が置かれた環境の変化に最も適応し
変わることのできる種が生き残る**

||

持続可能性を高めるポイント

19

地域に対するとらえ方 (例：福祉分野)



中心に対象者がいて、それを囲むように様々な人・機関・団体がいる。

例) 障がい者 →障がい者福祉
高齢者 →高齢者福祉
児童 →児童福祉

※地域包括ケア/生活支援協議体はまさにコレ

◎教育分野も同様

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度)

多様な人・機関・団体が
連携・協働して取り組む

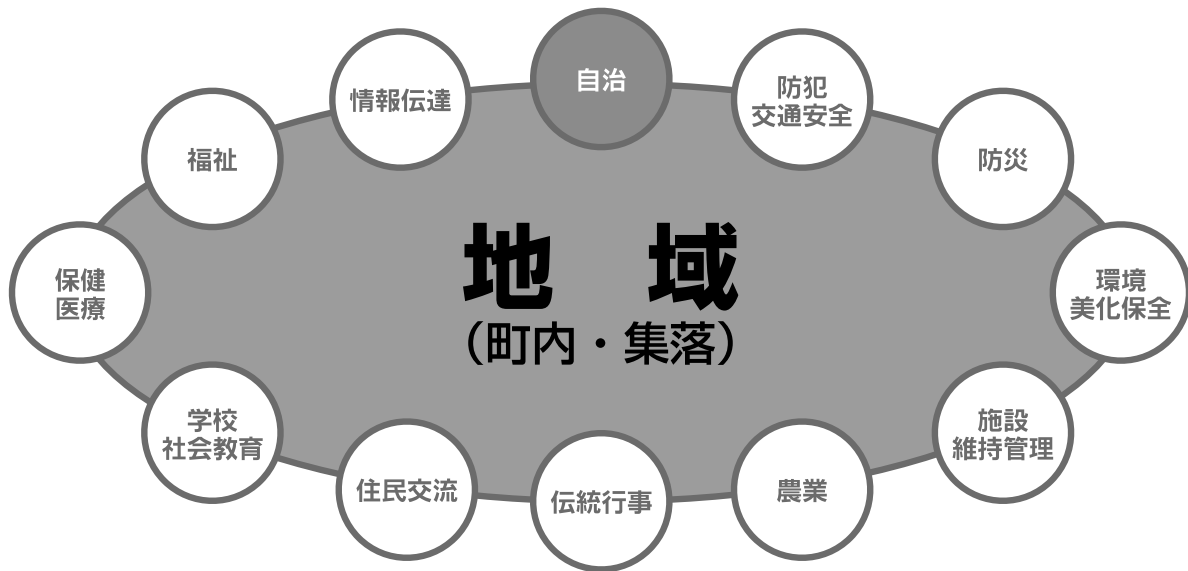
||

**地域が参画する
という考え方**

20

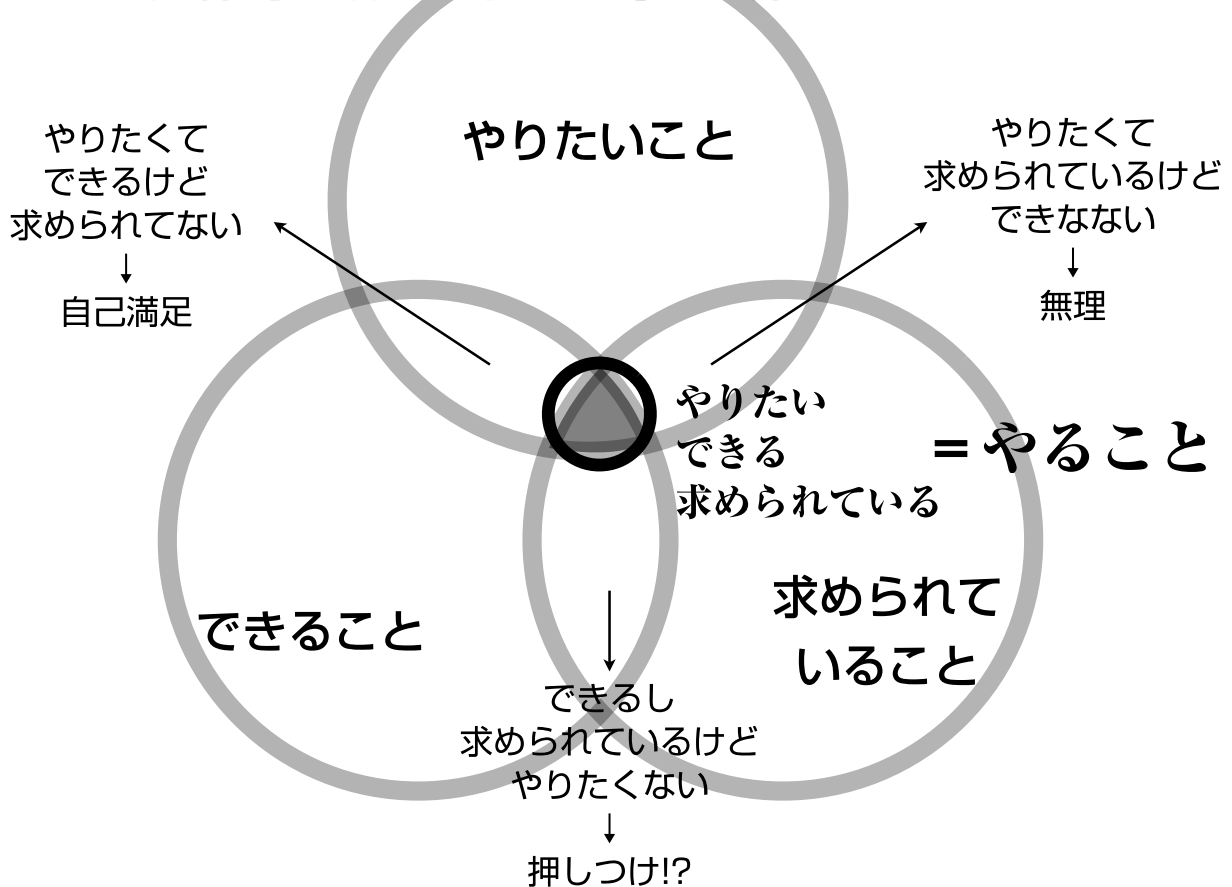
地域には多様な分野・領域の役割・機能がある！

分野から見れば地域は構成員の1つだが、
地域側から見れば構成する一つの分野でしかない。



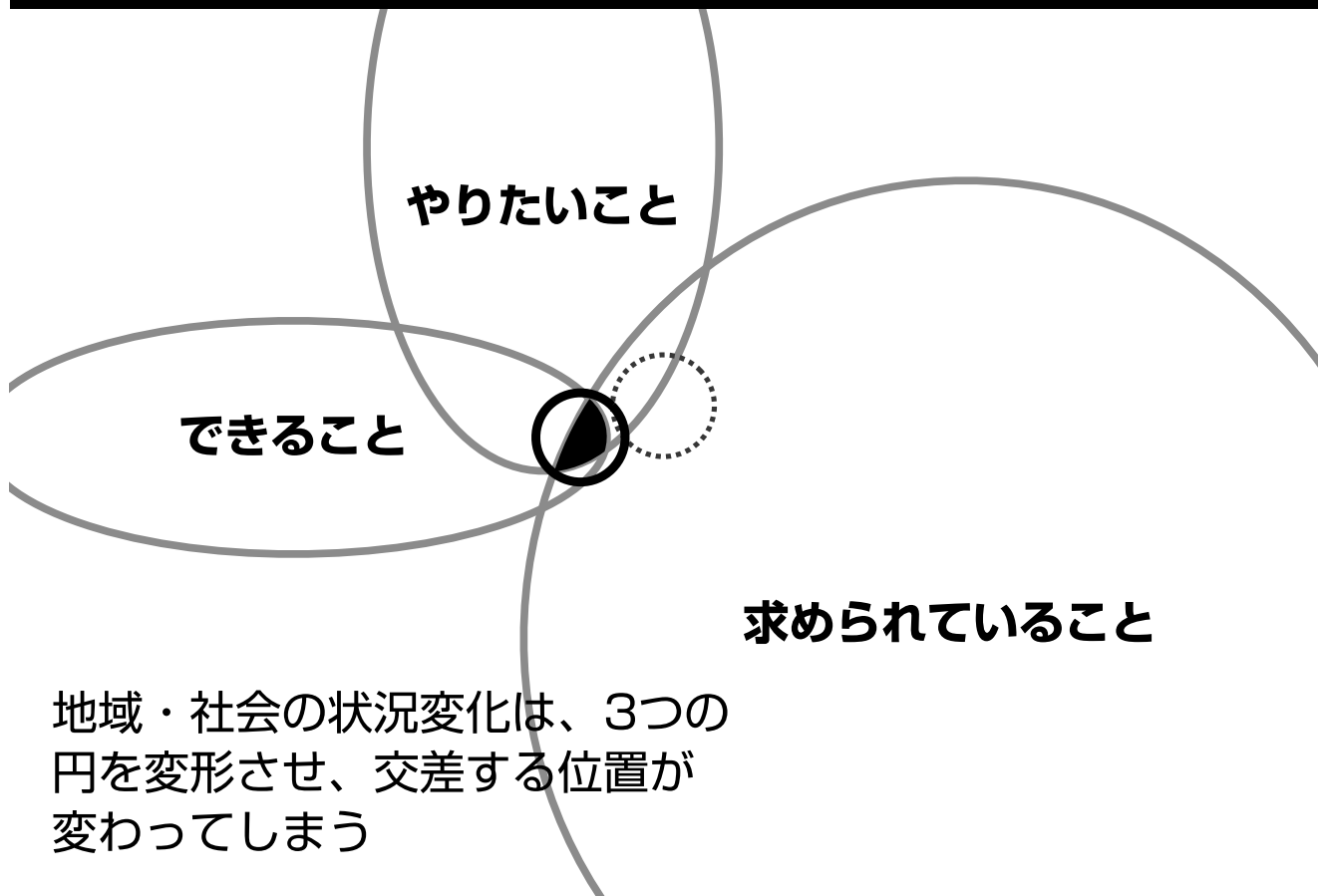
21

具体的な活動・事業を考える際のポイント



22

年月の経過と共に置かれる環境も変化



23

若者・中堅世代の多くは自治の担い手ではなく
単なる**公共サービスの消費者**に
なっていないか？

自治の担い手にするためには、
これまで築き上げてきた**自治の仕組み**を
今の時代に合わせて伝える
ことがまず必要では!?

24

家族の規模が小さくなり
働き方が変わり
地域を支えている前期高齢者が減少



これだけ状況が変わっているのに…

活動・事業の内容・やり方は
昭和のまま?!

25



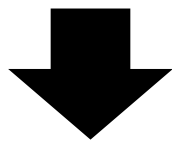
26

継承したいのは 組織か？ 機能か？

27

人口減少は避けられない現実

人口が少なくなる中で、地域の営みをどうやって
持続可能なものに変革できるかが問われている！

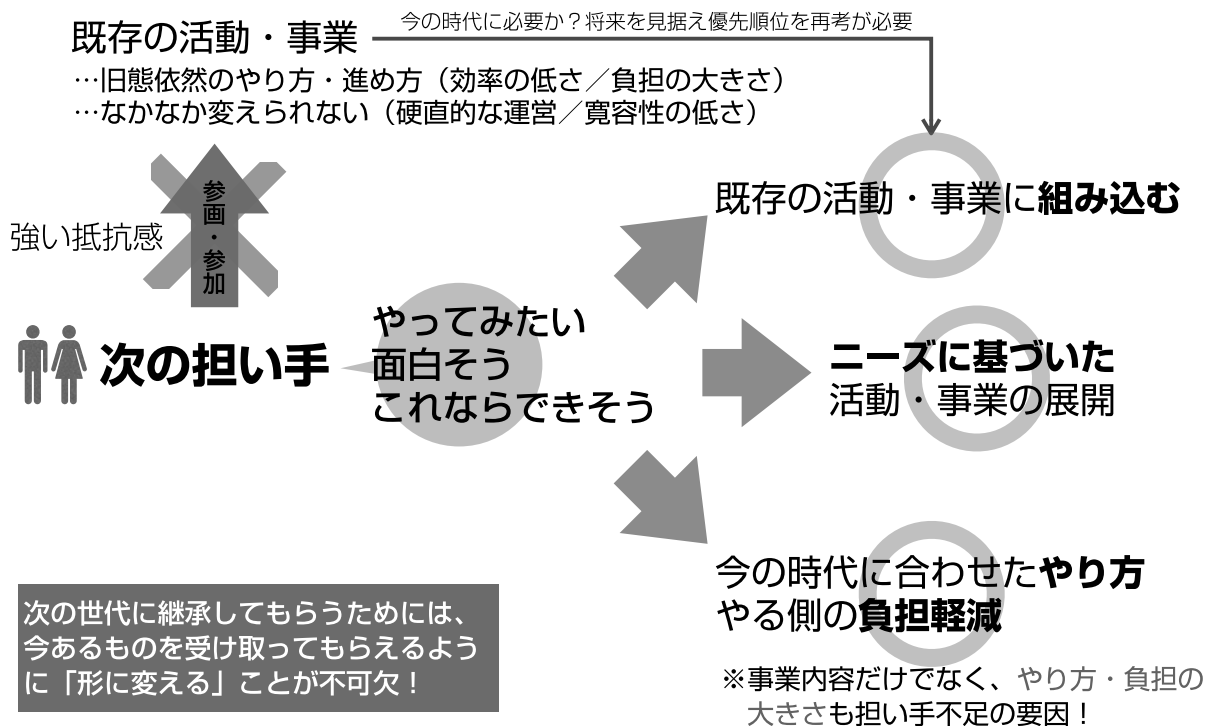


縮充

人口や税収などが縮小しても
地域の営みや住民の生活を充実させる

28

活動・事業の見直し・再編なしに 担い手不足は解決しない！



29

足し算ではなく 掛け算で考える

「組み合わせ」から新しい価値が生まれる。



ついでにやる
まとめてやる

30

大切なのは 補完性

いままで集落・自治会各々でやっていたことを
お互いに協力して補い合う仕組みづくりが重要！

活動・事業の合同実施／事務作業の効率化・一元化 など

31

問題・課題の 解像度を上げる！

解像度の低い漠然とした状態で解決策を考えるから、
実行性のある意見は出てこず、アクションも起こらない！

解像度の低い情報で対策を考えるから机上の空論になる。

32

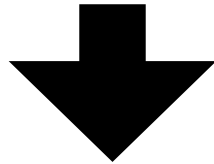
身近にある生活課題は？

誰が

何に困っている

【誰が】 お年寄りが

【何に困っている】 普段の買い物に困っている



解像度が高いというのは…

【誰が】

徒歩圏内にあったお店が無くなり、もう自分で車の運転をしなくなったので、自力で買い物に行けなくなったお年寄り。

【何に困っている】

バス路線はあり買い物には行けるが、生鮮食品や嵩張る物を買ってこられない。

33

大切なのは

人交密度

参加者数・イベント開催数などの量ではない！

困った時に気にかけてくれる／力になってくれる
人の数を増やすことの方が遥かに重要

密度の高い人の交わりを地域内外に生み出そう！

34

パネルディスカッション

「私たちの視点から見る支えあいのこれから」

パネリスト

八木山地区社会福祉協議会 会長 大野 貴子 氏

株式会社ユーメディア 取締役 今野 彩子 氏

仙台市健康福祉局保険高齢部参事

兼 地域包括ケア推進課 課長 庄子 希恵 氏

コーディネーター

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

理事・事務局長 斎藤 主税 氏

第22回地域福祉セミナー

八木山地区社会福祉協議会 支え合いの活動について

会長 大野 貴子

八木山まちづくりプロジェクト

八木山まちづくりプロジェクトとは💡

八木山地域が子どもからシニアまで幅広い世代が、
住みやすく、住みたくなる福祉のまちづくりに
取り組もうと発足しました！

①ハーブでまちづくりの活動を開始



なぜハーブ？

- ・ハーブっておしゃれ！素敵 育てやすそう
- ・料理やポップリに出来そう！

ハーブ栽培地

城南ラベンダー公園
八木山ベニーランド
東北朝鮮学校
町内会

一緒に楽しみながら
「ハーブでつながるまち」へ
活動していきましょう



ハーブ活動の様子♪




②みんなのカフェ



それぞれ町内会にサロンがありますが
集会所がないことで、なかなか開催できず…

そこで「おいしいコーヒーを飲みながら集まり
ませんか？」と呼びかけることに。
市民センターを開催場所としました！



みんなのカフェ 
(コロナ前)の様子



しかし…コロナ流行により活動は一時中止



令和4年 恐る恐る再開

令和5年 7月～3月まで 計8回開催！

そのうち出張出前カフェ3回 3か所の町内会へ
スマホ教室やボッチャ大会も開催しました！

コロナ禍・
アフターコロナ



ボッチャ大会！👉



スマホ教室の様子♪

みんなのカフェ 令和6年の活動



- 4月 第1回 タケノコ堀り 子どもたちの参加
- 7月 親子でポッチャ
- 8月 動物園のお話し
- 9月 スマホ交流会

加えて モルック大会
みんなで凧づくり を計画しています！

③八木山防災連絡会の活動

2008年設立



八木山の住民が、地震に対して安心して生活できるよう
八木山の住民の幸せを支援することを目的。

基本的な「助けてくれる」「助けてあげる」の考え

特に「助けてくれる」という安心感は住民の財産。

情報交流、助け合い、会話を促進する。



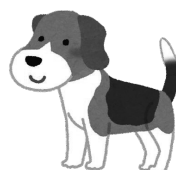
一人一役

防災連絡会の医療福祉関連部会からの提案
何かしたいけれど何をしたいのかわからない

とりあえず何か活動に参加してみてもいい？

- ・動物公園駅前ローデン愛護会 公園や花壇の手入れ
- ・八木山テラスで草刈り 竹ちぐら ベンチ作成
- ・運動自主グループに参加
- ・登校時の横断見守り～子どもの笑顔に会いたくて～
- ・ごみ捨て支援
- ・小学校での読み聞かせ
- ・料理をつくり食事の準備が大変な方にふるまう 等

④わんわんパトロール



R4.7.7 女子中学生が切りつけられた衝撃的な事件
八木山は安心安全なところだと思っていた…
何か出来ないだろうか？

八木山は犬の散歩をする人が多い
安全なまちを作るための地域の取り組みとして
わんわんパトロールやおさんぽパトロール等の
ながら見守りを発足！



わんわんパトロール おさんぽパトロール 交流会の様子🍀

犬の散歩をしながら、自転車での移動中、
花や庭の手入れをしながら…
子どもへの挨拶、声掛け、住民同士の挨拶を
積極的に行い、見守り活動をしていることを
多くの方に知ってもらえると効果はさらに高まって
いくように思います。

特別なことをするのではなく、自分の活動に合わせた
無理のない活動が大切だと感じています。



ご清聴ありがとうございました！

ちいきのみらい、わたしたちから ユーメディアグループのソーシャルアクション

2024年10月10日

株式会社ユーメディア
取締役 今野 彩子

U-media Communication Support and Customer Satisfaction
おもいを、カタチに。みんなを、ゲンキに。

会社概要

2

U-media <https://www.u-media.jp>



PURPOSE ひととちいきのミライをゆたかにする。
MISSION おもいを、カタチに。みんなを、ゲンキに。

会社概要

社名 株式会社ユーメディア
代表者 代表取締役 今野 均
設立 昭和35年1月5日
資本 6,000万円
従業員数 143名 (2024.4)

【事業内容】

CS・エリアマネジメント・地域ブランディング・
メディアコンサルティング・地域メディア運営

受賞・認証歴

- 2017年（平成29年度）厚生労働省
プラチナくるみん
- 2021年（令和3年）宮城労働局
えるぼし認定(3段階目)
- 2018年（平成29年度）経済産業省
地域未来牽引企業
- 2018年（平成29年度）経済産業省
新・ダイバーシティ経営企業100選
- 2019年（平成30年度）仙台市
仙台「四方よし」企業大賞【優秀賞】
- 2021年（令和3年）全日本印刷工業組合連合会
全印工連CSRスリースター

MEDIA
&
Service

machico

仙台・宮城の人とまちを元気にする、地域コミュニティサイト

227's Cafe

喉ハミングバードと弊社の強みを活かした「東北の魅力劇出コンソーシアム」

**SENDAI
OKTOBERFEST**

毎年9月に開催されるドイツビールと東北ビールの祭典社の都のビール祭り

COLORweb

宮城・仙台的学生たちが編集部長！若者による若者のためのメディア

BAR-SENDAI

東北各県の地ワインと輸入ワインが楽しめる社の都のワイン祭り

river

「企業版ふるさと納税」で自治体と企業をマッチングする地域課題解決PF

仙道
精丁
フタ

仙道の横丁カルチャーをもっと身近に体験できる気軽に楽しいイベント

**Web
de名刺**

オンライン名刺発注ASPシステム

グループ
企業

PRESSART

歴史ある自社メディア「S-style」「Kappo」などの情報誌とトータルプロモーションで地域を活性化

**FM 76.2
RADIO3**

「ラジオ3」の愛称で知られる仙台市内を主な放送区域とするコミュニティエリアム



人・組織づくりのコミュニケーション

子育て経験を強みに変える。
誇れる私で、社会に踏み出す。

ハハルル

※本誌「子育て」をテーマに、子育てで培ったスキルや経験を強みとして、社会で活躍する女性を応援する。子育て経験を活かして、社会で活躍する女性を応援する。子育て経験を強みに変える。誇れる私で、社会に踏み出す。



街づくりのコミュニケーション



地域の魅力を高めるコミュニケーション



社会課題解決へのコミュニケーション



事業の中核で活躍し続ける



時間価値を高める働き方

日	内容
オープニング	9月14日(水) オープニンググループ 発表会開催
Day1	9月15日(木) ひとりもいかなるよう活動か考える
Day2	9月16日(金) 発表会 発表 発表 発表
Day3	9月17日(土) 発表会 発表 発表 発表
Day4	9月18日(日) ミライプレゼン 発表
Day5	9月19日(月) My purposeを振り返ろう！ 発表
Day6	9月20日(火) エライズ(卒業) ワークショップ 発表会・フェアール



挑戦を是とする風土



経営幹部の継続的な対話の場



Group PURPOSE

ひととちいきの ミライをゆたかにする

U-media MISSION
おもいをカタチに みんなをゲンキに

Pressart/Radio3 MISSION
たのしいをつなぐ 感動メディアに

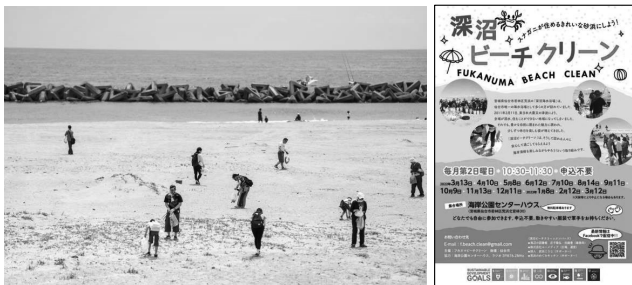
U-media Group IDENTITY
COMMUNICATION DESIGN COMPANY

Group CREDO
ちいきのミライ、わたしたちから

ユーメディアグループのソーシャルアクション

深沼ビーチクリーン

主催:フカヌマビーチクリーン 後援:仙台市 協力:海岸公園センターハウス・ラジオ3
メンバー:海辺の図書館(事務局)・ユーメディア(広報・運営)・荒浜のめぐみキッチン(サポーター)



荒町子まもりプロジェクト

主催:荒町商店街振興組合、荒町児童館、荒町市民センター
メンバー:荒町学区に関わるあらゆる機関や団体、商店、企業など30団体



TAUラウンドテーブル／荒町のミライチズを描こうプロジェクト

東北学院大学・荒町商店街振興組合・ユーメディアが立ち上げ、現在は東北学院大学の大学生8名が参加。



1年生ラジオ

毎週金曜 19時O.A.
FM76.2MHz
19:00-20:00
19:00-20:00



地域のミライに本気で向き合う！
JIMOTO
コラボ
インターン

JIMOTOコラボインターン

地元企業の人づくり浸透
合同インターン3年目成果発表会
魅力や働きがい学ぶ

フェムテックイベント「わたしをもっと愛そうフェス」

わたしをもっと愛そうフェス
Femtech SENDAI 2023
参加無料

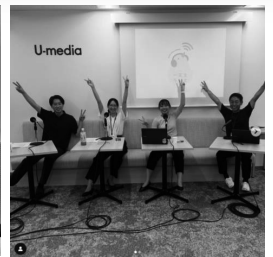


U-media Communication Support and Customer Satisfaction
おもしろい、カタチに、みんなも、ワクワク。

©2019 U-media CO., LTD. All Right Reserved.

1年生ラジオ

毎週金曜 19時O.A.
FM76.2MHz
19:00-20:00
19:00-20:00



U-media Communication Support and Customer Satisfaction
おもしろい、カタチに、みんなも、ワクワク。

©2019 U-media CO., LTD. All Right Reserved.

事業と仕事を誇れる新卒採用

直近の新卒採用応募者数、内定率

	2024年卒	全体	(うち女性)
応募者数	48		
内定数	8		(6)
内定率	16.7%		
内定辞退者数	2		(1)
内定辞退率	25%		
入社予定者	6		(5)

新卒採用者数と5年以内離職者数

	男性	女性	全体	離職者
2019	3	2	5	1
2020	1	1	2	0
2021	2	1	3	0
2022	2	3	5	0
2023	1	3	4	0
2024	1	3	4	0



地域包括ケアシステムにおける これからの支え合い

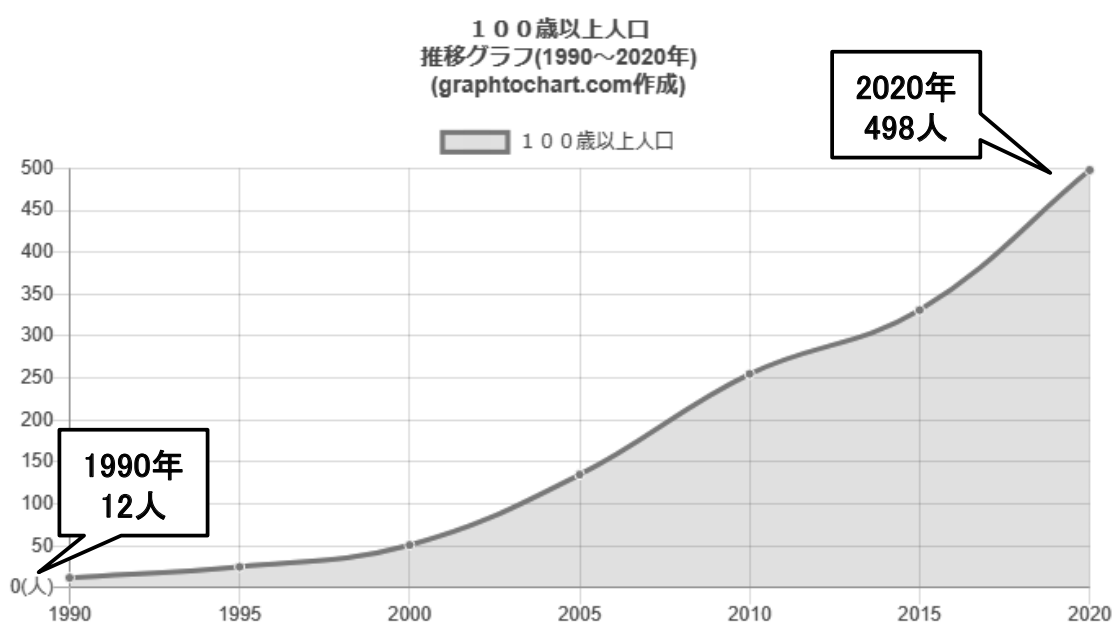
仙台市健康福祉局保険高齢部地域包括ケア推進課

人生100年時代到来と
言われている中、どこで
どのように暮らしていき
たいですか？



オタツシャー
仙台市介護予防・認知症対策
イメージキャラクター

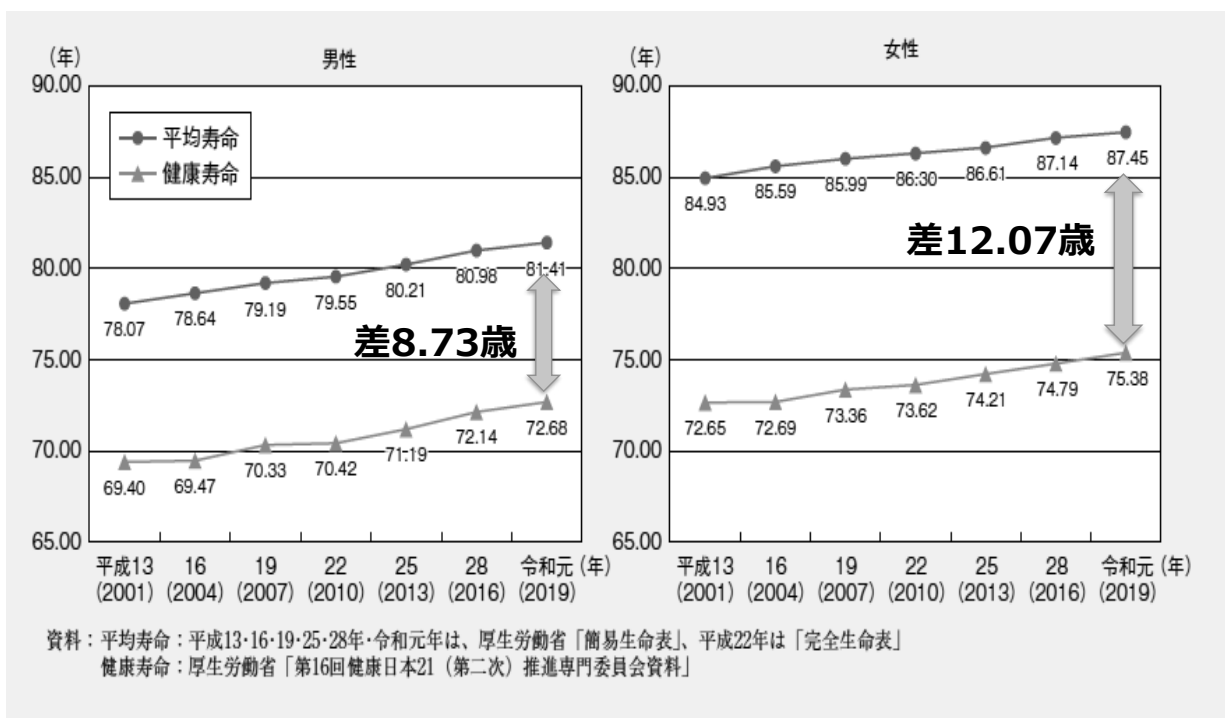
仙台市の100歳以上人口推移



出展: GraphToChart. 「グラフで見る仙台市の100歳以上人口は多い? 少ない? (推移グラフと比較)」.
最終更新: 2022-01-01. <https://graphtochart.com/japan/sendai-shi-population-100-and-over-total.php>. (参照日時: 2023-11-07)

2

日本人の健康寿命と平均寿命の推移



出典: 令和5年版高齢社会白書

3

1. 地域包括ケアシステムの充実強化に向けて

「仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和6(2024)年度～令和8(2026)年度)」に基づく取り組みより抜粋

【施策5】地域の多様な主体が連携する支え合い体制づくりの取り組みの強化(抜粋)

○住民主体による訪問型生活支援活動団体立ち上げ支援等事業の実施

地域において訪問型生活支援の活動を行うボランティア団体等の新規立ち上げや活動の継続性を支援することで、高齢者の社会参加による健康寿命の延伸や、介護保険等の公的サービスのみによらない地域での支え合い体制の充実を図る。

○生活支援コーディネーターによる地域支え合い活動の充実

生活支援コーディネーターを各区・宮城総合支所管内と中学校区単位に重層的に配置し、通いの場の拡充や関係者間のネットワーク構築など、地域支え合い活動の推進を図る。

○医療・介護連携の強化

地域ケア会議等の機会を通じて、医療・介護関係者の「顔の見える関係」づくりを進めるとともに、情報共有の円滑化を図る。また、終末期等の意思表示に係る普及・啓発等を通じて、地域住民が必要な医療・介護サービスを適切に選択できるように努める。

4

地域包括ケアシステムとは

【定義】

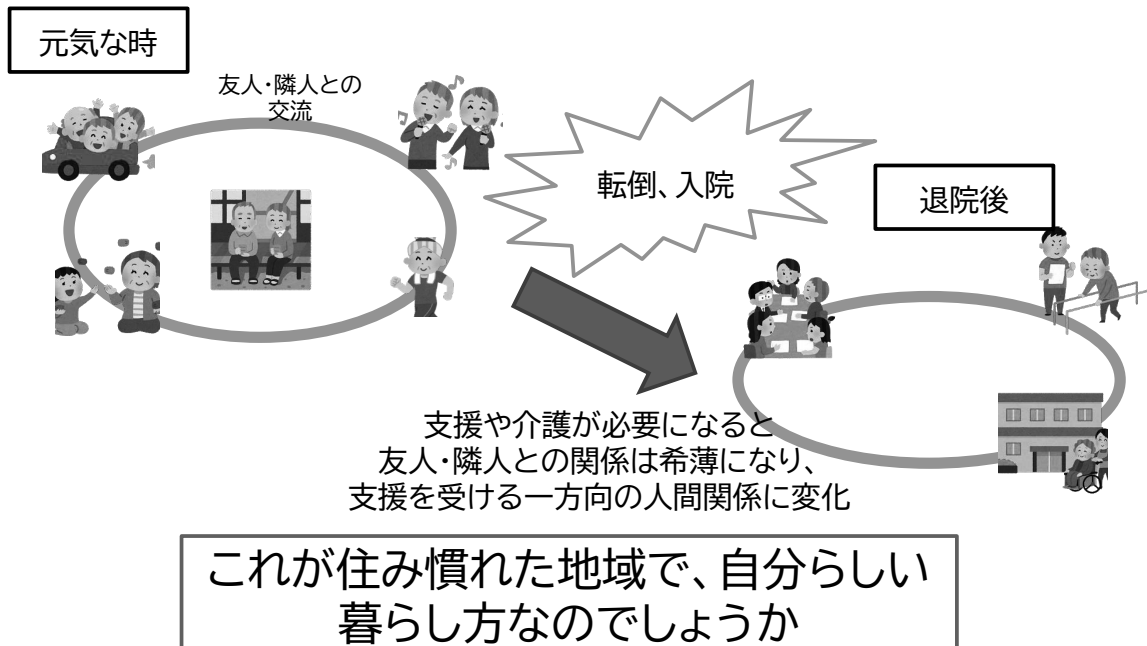
重度の要介護状態になっても、**住み慣れた地域**で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援**が地域の中で一体的に提供される体制づくり。

引用：厚生労働省ホームページ



5

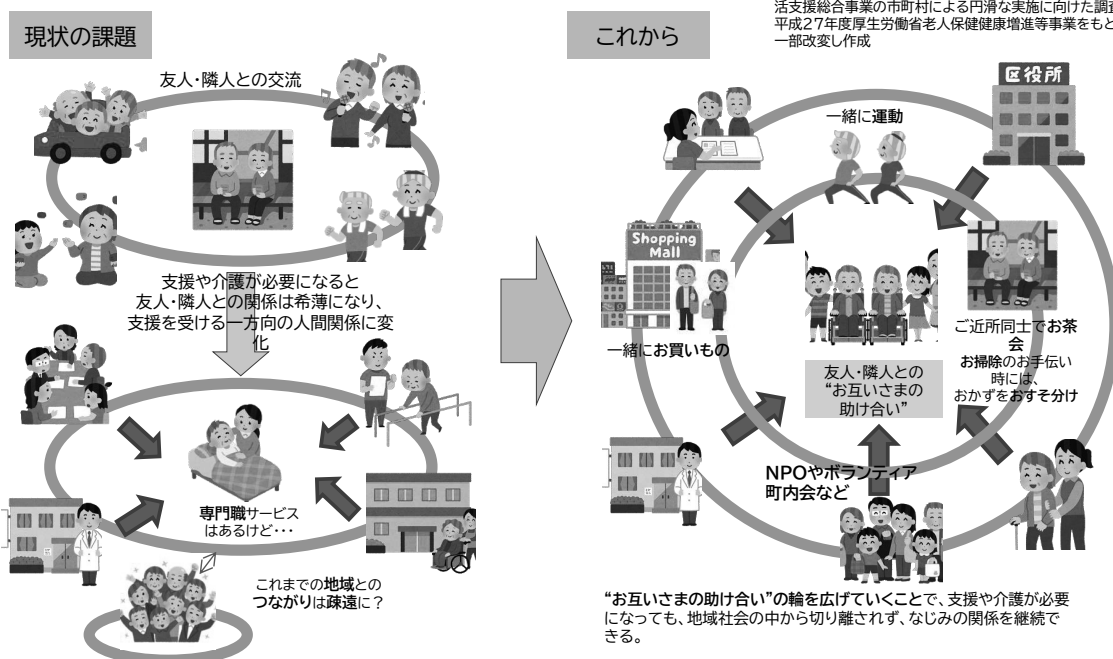
仮に介護が必要な状態になったら…



6

地域生活は専門職・サービスだけでは支えきれない

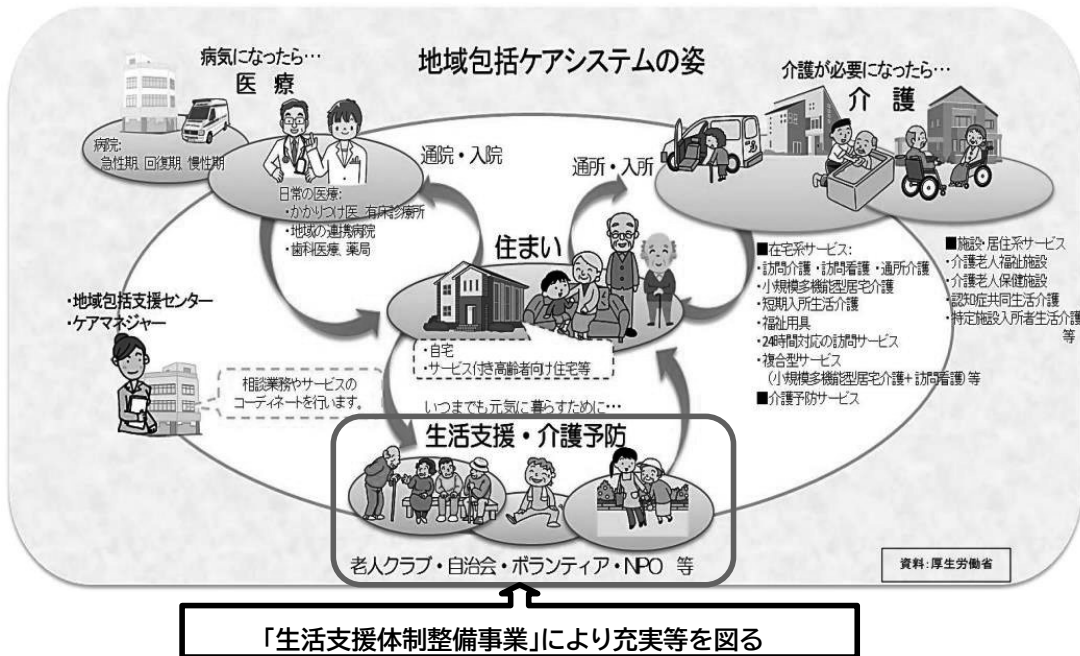
出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング、「新しい総合事業の移行戦略～地域づくりに向けたロードマップ」、(地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業の市町村による円滑な実施に向けた調査研究事業)、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業をもとに仙台市が一部改変し作成



7

2. 生活支援コーディネーターによる地域支え合い活動の充実

地域包括ケアシステムにおける生活支援体制整備事業の位置づけ



「生活支援体制整備事業」により充実等を図る

8

第2層生活支援コーディネーターの取り組み内容例①【発足当初】

- ①住民同士の支え合い活動団体の立ち上げ支援の例(向陽台地域包括支援センター)
- 第2層生活支援コーディネーターが日頃の地域活動や包括業務を通し、少子高齢化・核家族化による個人と地域との繋がりの希薄化や、高齢世帯・一人暮らし世帯の孤立を地域課題として捉えていた。一方、包括圏域会議内のグループワークにて、住民たちには「安心してこの地域で暮らし続けたい」というニーズがあることも把握し、課題の解決と住民のニーズに応えるため、住民同士の支え合い活動の立ち上げを計画した。
 - まず、介護保険制度と地域づくりについての住民向け講演会を開催し、公的サービスだけではなく、地域のインフォーマルサービスも重要であることについて住民に示した。その後、町内会長や地区社協会員などでコアメンバーを構成し、協議体の中で団体立ち上げに向けた話し合いを重ねた。その他、2回目の住民向け講演会を開催し、既に活動している他地域の支え合い活動団体の活動報告を行い、住民に対し支え合い意識の醸成を図った。
 - 地域住民・商店・各種団体に声掛け「ネットワーク会議」を開催し、地域住民である自分たちは何ができるか、住民主体の支え合いの仕組みづくりについて話し合い、支え合い活動団体を立ち上げた。その後、会として住民説明会およびアンケートを実施し協力員を募り、有償ボランティア団体として活動を開始するに至った。
 - 団体は現在も、草取り、ゴミ出し、剪定、病院送迎などの支援活動を通じて仲間づくりや健康づくりに取り組んでおり(※)、支援者本人たちの健康寿命の延伸や、支援される方が介護サービスのみに頼らず生活できる地域づくりが進んでいる。(H28年度～)

※仙台市の「住民主体による訪問型支え合いサービス事業」の要件を満たす団体としても活躍中

9

②地域の担い手づくりから地域食堂の開催(沖野地域包括支援センター)

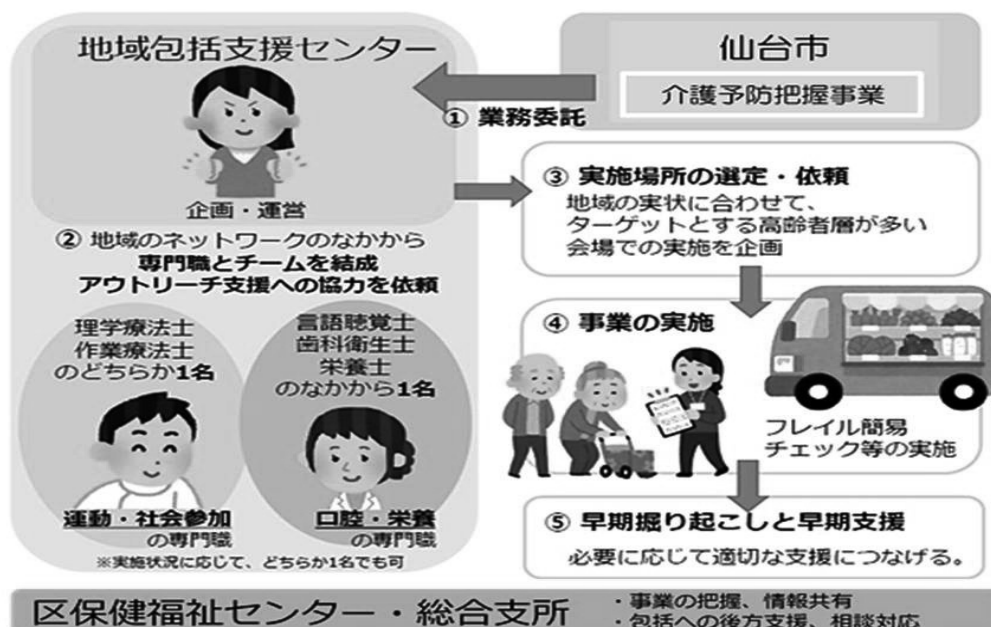
- 地域で開催されていた子ども食堂への関わりの中で、参加していた高齢者からの「高齢者向けの集いの場があると良い」「お金を出して出前を取っても良いので、誰か一緒に食事をしてほしい」といった声を受け、独居世帯・高齢世帯の増加、地域との関わりの希薄化から、高齢者の孤食への対応が必要と考え、地域食堂(高齢者対象)の立ち上げと地域の居場所作りを計画した。
- 認知症カフェやサロン、民生委員の集会等で地域住民へ話を聞くと、「あったらいいね」「立ち上げてもらいたい」「ボランティアしたい」との声があったため、デイサービスに場所の提供を、区社協にボランティア研修の共催を打診。研修会の中で参加者にアンケートを実施し、アンケートにて協力の意思があった方と町内会長で委員会を発足し、助成金の申請等を経て地域食堂の開催に至った。
- コロナ禍にスタートしたため、感染対策などに苦労することもあったが、現在も、食堂は継続中。食堂は、住民の活躍の場であるとともに、高齢者が地域とつながる交流の場となっている。
(R2年度～)



10

3. 地域の多様な主体が連携する体制づくりに向けて

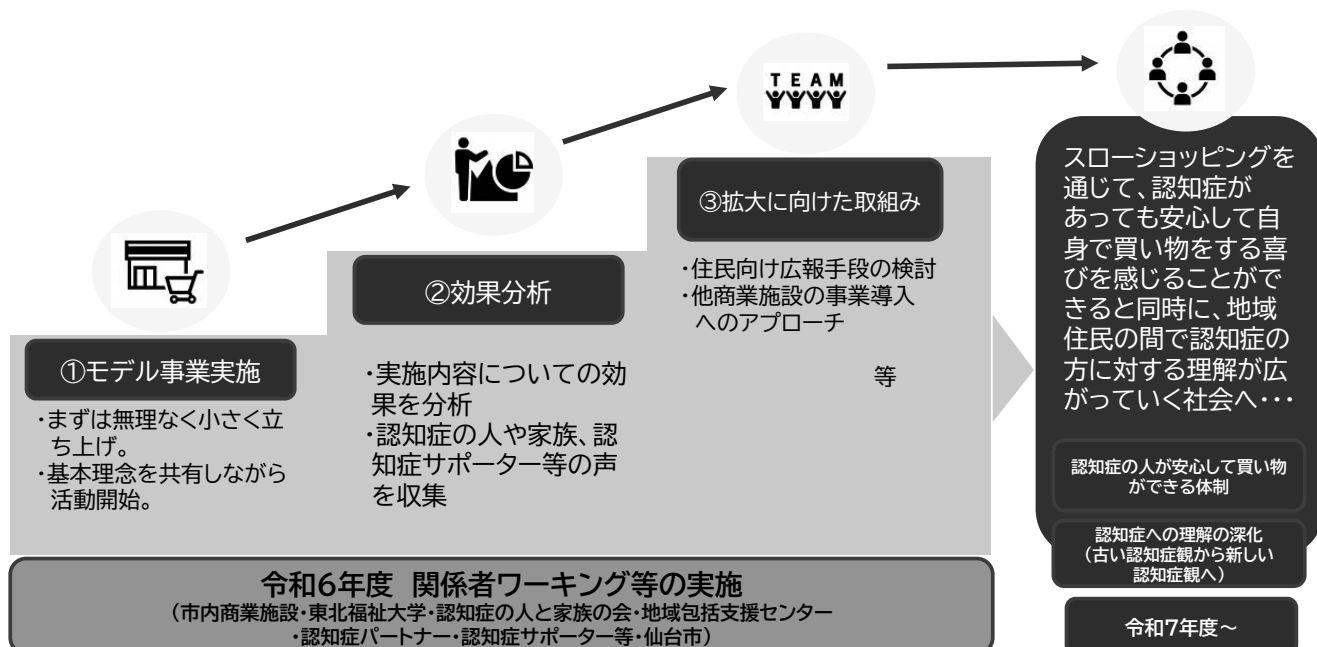
【フレイル予防アウトリーチ支援事業】



11

【スローショッピング】※令和6年度はモデル事業です

事業イメージ



12

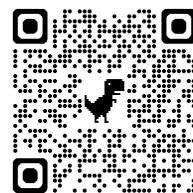
4. 最後に

高齢者のみの世帯の増加などにより、高齢者の支援ニーズの拡大や複雑化が見込まれる中、自身の希望や状態に応じて、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができる環境を整えることが一層求められています。

仙台市は、地域の支え合いを深めるために、福祉分野に限らない多様な主体との連携により、地域の特性や実情に応じた見守りや支え合いの体制づくりに、引き続き取り組んでまいります。

★仙台市は、様々な分野で、多様な手法により、民間企業等との連携に取り組んでいます！

仙台市HP:「民間企業等との連携」→→→



13

第22回 地域福祉セミナー開催要綱

1 目的

仙台市では、平成8年に始まった小地域福祉ネットワーク活動を中心に、地域における人と人とのつながりを基盤として、住民自らによって支えあいの取り組みが推進されてきました。しかし、近年では、社会構造や価値観の変化などが進み、従来の協力・協働の仕組みだけでは、担い手不足に直面し、活動の継続が困難となる状況も見られています。

このような背景のもと、私たちが目指す「地域共生社会」の実現に向けては、福祉分野に留まらず、分野・領域を超えた地域づくりの担い手が出会い、協働していくことが求められています。そして、新たなつながりをつくるためには、私たちそれぞれが持つ地域への想いを共有し、これからの支えあいの形を「みんな」で考えていくことが大切であると考えます。

本セミナーでは、地域福祉活動に取り組むにあたって私たち自身が持つ想いを見つめ直すとともに、支えあいの輪をさらに広げ、重ね合わせていくための必要な視点について考えていきます。

- 2 主催 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 仙台市
- 3 共催 仙台市地域包括支援センター連絡協議会
- 4 後援(予定) 仙台市連合町内会長会、仙台市民生委員児童委員協議会、日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部、仙台市共同募金委員会、仙台市老人福祉施設協議会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、(社福)仙台市手をつなぐ育成会、(社福)仙台市障害者福祉協会、(特活)仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、(特活)せんだい・みやぎNPOセンター、(社福)宮城県社会福祉協議会、(一社)宮城県社会福祉士会、仙台商工会議所、(公社)仙台青年会議所
- 5 日時 令和6年10月10日(木) 13:15~15:45
- 6 テーマ 「みんなで考える 支えあいのこれから」
- 7 会場 【会場参加】仙台市福祉プラザ 2階ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2丁目12番2号)
【オンライン参加】各参加者の自宅や職場等(インターネット環境必須)
※申込時に会場参加またはオンライン参加のどちらかを選択
- 8 参加対象 地区社協役員・福祉委員、民生委員児童委員、町内会関係者、地域包括支援センター職員、NPO、企業、学校、その他関心のある方
- 9 参加費 無 料
- 10 定員 会場参加：250名(先着順)

11 内 容(予定)

時 間	内 容
12 : 30	受付開始
13 : 15	1 開 会
13 : 25	<p>2 基調講演『地域福祉の持続可能性を高めるには分野を超えた補完性が大切 ～これまでとこれからは違う！時代に即した進化が不可欠～』</p> <p>地域福祉の重要性が益々高まる中で、一人ひとりが実感を伴ってその必要性を理解し、自分事として考え、協力・協働を進めながら実践に移していくための視点を学びます。</p> <p>講 師：特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏</p>
14 : 15	休憩
14 : 25	<p>3 パネルディスカッション『私たちの視点から見る支えあいのこれから』</p> <p>福祉分野に限らない連携による実践や、その活動を後押ししていくための仕組みづくりに関する報告をもとに、今後私たちが目指していく支えあいの形について考えます。</p> <p>パネリスト</p> <p>(1) 八木山地区社会福祉協議会 会長 大野 貴子 氏 (2) 株式会社ユーメディア 取締役 今野 彩子 氏 (3) 仙台市健康福祉局保険高齢部参事 兼 地域包括ケア推進課 課長 庄子 希恵 氏</p> <p>コーディネーター 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏</p>
15 : 45	4 閉 会

12 申込方法

下記 Web フォーム、または、所定の申込書により 令和 6 年 10 月 1 日（火）までにお申し込みください。

① 申込書により申し込まれる場合

別紙チラシ裏面の申込書にご記入の上、E メール・FAX・郵送等により市社会福祉協議会事務局までお送りください。定員の都合上、参加不可の場合のみお知らせします。

② Web フォームにより申し込まれる場合

下記 URL または QR コードよりアクセスしてください。

URL : <https://forms.gle/QJQEsrNWeDtCxHGA8>



【申込後について】

(1) オンライン参加用 ID 等について

オンライン参加の場合、ZOOM ID 及びパスワードをお送りします。

(2) 資料について

会場参加される方には、当日会場にて資料をお渡しいたします。

オンラインにより参加される方は、資料データを下記の仙台市社会福祉協議会ホームページ上に10月7日(月)までに公開しますので、ダウンロードして必要に応じて印刷をお願いします。(※仙台市社会福祉協議会で検索) <http://www.shakyo-sendai.or.jp>

【オンライン参加の場合の動画視聴方法等について】

(1) オンライン参加の場合、動画を視聴するにあたり、インターネットに接続したパソコン等の端末が必要となりますのでご準備ください。

(2) 動画は、ZOOM でライブ配信します。

(3) 動画視聴のための ZOOMID 及びパスワードは、申込締切後に別途メールでご案内しますので、申込書に、必ずメールアドレス、連絡先をご記入ください。

13 その他

ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。自家用車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

14 問合せ・申込み先

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 地域福祉係

仙台市青葉区五橋 2-12-2 仙台市福祉プラザ 6F

電話：022-223-2026 FAX：022-262-1948

Eメール：tiiki@shakyo-sendai.or.jp

HP：<http://www.shakyo-sendai.or.jp>

令和6年10月

発行 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会